

和み処 一番星 台本

(■トラック 1)

■効果音: 足音 (砂利道)

■効果音: 引き戸を開ける音

■効果音: 遠くからかけよってくる足音

▼位置: 前【遠距離】

《月》

いらっしやいませ。ようこそ『和み処 (なごみどころ) 一番星』へ。

くへく、今日も来てくれたんだ？またお疲れ？

■主人公: もうどっかり疲れてるよ

……そっか。うん、それじゃたくさん癒してあげるね。

荷物持つよ。こっちにちよーだい。

■効果音: 足音 主人公が一步踏み出す音

■効果音: 荷物を渡す音

▼位置: 前【中距離】

う、重い。もしかして明日、このままお仕事に行く感じ？

ちゃんとお家に帰らないとだよ？

■主人公: それは月もだろ

……まあそうだけど。うん、そんなお話は置いておこ？

せっかく癒されに来たんだし。暗い話はノーセンキューってことで。

■効果音: 荷物を少し持ち上げる音

それじゃお部屋にご案内するから、靴脱いでこっちに来て。

36 ■効果音:靴を脱ぐ音

37
38 そのままでいいよ。後で新入りの子が直してくれるから。

39
40 ■主人公:新入り入ったの？

41
42 ……そうなの、ついに私も先輩になっちゃった。気張らないとだね。へへ。

43
44 ■効果音:足音 ギシギシする床に一步踏み出す音

45
46 今日のお部屋は少し豪華だから、期待してて。

47
48 ■効果音:足音二人分 月の方は荷物を持つてるので荷物が揺れる音も

49 ■編集さんへ:途中で階段を下る音も入れてください。

50 ※マイク位置変更箇所・マイクの高さをあげる

51 ▼位置:左耳側【中距離】隣で並走して歩いて主人公の方を向いてます

52
53 まだ午前中だけお外暑かったよね？ ここまで来るの結構大変だったんじゃない？

54
55 ■主人公:まあね

56
57 いくら私に会いたいからって、無理しちゃダメだよ？

58 無理せず休む、無茶せずだらける。それがここ一番星のモットーだから。

59
60 ■主人公:そうなのか？

61
62 くく。嘘だよ。これは私のモットーだね。

63
64 ■効果音:少し足音

65
66 あっ、忘れてた——こほん。

67
68 ▼演技指示:以降の旅館の説明時、少しだけたどたどしい演技をお願いします。

69 ▼位置:左耳側に立ち【中距離】正面を向いて

70
71 和み処 一番星は都会の喧騒から無縁な山奥にあり、

72 あたりには四季折々の木々が彩りを添えてくれます。

73
74 ご来館いただくたびに新鮮な景色を提供できるのが、当館の見どころの一つになります。

75
76 ■効果音:少し足音

77
78 またお料理にもその時々もつとも豊かな食材を仕入れ、

79 二度は味わえないその日限りのお料理をご提供しております。

80
81 素朴でありながらも、素材の味をしっかりと活かしたお料理で、
82 ほっこりとした気持ちになれると思います。

83
84 ■効果音:少し足音のみ

85
86 天然温泉も当館の目玉の一つです。

87
88 特に露天風呂は天然石で敷き詰められており、雄大さと自然美を満喫できます。

89
90 満天の夜空の星を仰ぎながら浸かる温泉は格別です。
91 ぜひお客様だけの一番星を見つけてくださいませ。

92
93 ■効果音:少し足音のみ

94
95 朝から晩まで、晩から朝まで、お客様をおもてなし、
96 和やかな時間を提供することを第一にした宿、
97 それが和み処 一番星となります。

98
99 ………。

100
101 ▼位置:左耳【中距離】※主人公の方を見て話しかけてます。

102
103 ………ど、どうだった？ ちゃんと言えてた？ ばっちりだった？

104
105 ■主人公:ばっちし

106
107 良かった、前に案内したときはお料理のくだりを忘れちゃってたから、

108 今日は合格満点だよね。

109
110 ■主人公：満点だよ

111
112 へへへ嬉しいなあ。

113
114 さっきのはねまだ覚えなくてもいいんだけど、先輩がやってるのを見て、
115 かつこいいなあって思ったからやってみたかったんだ。

116
117 次に来た時も、忘れてないか手伝ってね。

118
119 ■主人公：いいよ

120
121 ……うん、約束♪

122
123 ■効果音：少しの間 足音

124 ■効果音：足音 ストップ

125 ▼位置：左耳側に立ち、正面を向く【普通】

126
127 到着。今日はここでお泊りだね。雪白の間（せつぱくのま）って言うんだ。

128
129 ■効果音：左耳【中距離】※主人公に話しかけてます。

130
131 常連さんじゃないとお泊りできない、すごくいいところなんだよ。
132 私も案内するの初めてで。ドキドキしちゃう。

133
134 ■主人公：常連さん？ 僕が？

135
136 ……うん、もう何回も来てるからね。常連さん中の常連さんだよ。
137 うーうん、よし！ 今日から呼び方を常連さんにしてあげるね。

138
139 特別感があっていいでしょ？

140
141 ■主人公：いつも通りに呼んでほしいな。

142
143 ……我儘言わないの。私、初めての常連さんだよ？ 嬉しくないの？

144
145 ■ 主人公：嬉しくないわけじゃないけど。
146 ならばよし。
147

148 ■ 効果音：襖を開ける音

149 ■ 効果音：月が振り返る音

150 ▼ 位置：前【中距離】

151
152 さ、入って。
153

154 ■ 効果音：部屋に入る音 足音×2

155 ■ 効果音：襖を閉める音

156
157 それじゃ改めて、ようこそ和み処 一番星へ。
158

159 今日、常連さんのお相手をさせていただく日向月（ひむかい つき）です。
160 たくさん常連さんを癒してあげるから覚悟しておくように。へへ。
161

162 (■トラック 2)

163
164 ■環境音:窓から風がふく音&時折風鈴の音

165 ■効果音:足音

166 ▼位置:前【遠距離】

167
168 ≪月≫

169 そこに座ってて。今、お茶用意するから。

170
171 ■効果音:主人公が座布団に座る音

172 ■効果音:月が離れる音

173 ■効果音:月が遠くでお茶を用意する音

174 ■効果音:冷蔵庫を開ける、お茶を取り出す。冷凍庫を開けて氷を取り出すなど。

175 ■効果音:月が近づいてくる足音

176 ▼位置:後ろ【遠距離】

177
178 お待たせ。

179
180 ■効果音:足音（後ろから前に回り込むような感じです）

181 ■効果音:お盆を机に置く音

182 ■効果音:月が座布団に座る音

183 ▼位置:前【遠距離】

184
185 よいしょと。

186
187 ▼位置:前【中距離】

188
189 麦茶でよかったよね？ だいぶ暑くなってきたから氷もたっぷり持ってきた。

190 キンキンに冷やした麦茶で、少しでも体にたまった熱を出しちゃおう？

191
192 ■効果音:氷をトングでつかみ、コップに入れる音（4つくらい）

193 ■効果音:麦茶を氷の入ったコップに注ぐ音

194 ■効果音:麦茶を注いで氷が割れる音

195
196 この氷が割れる音、聴いてて心地いいよね。夏がやってきたって感じがする。
197 風流ってやつだねえ。

198 ■効果音:コップを主人公の前に差し出す音(氷が揺れる音もください)
199
200 はい、どうぞ。喉カラカラかもだけど、ゆっくり飲むんだよ?
201 一気に飲むと頭キンキンになっちゃうからね。
202
203 ■効果音:主人公が麦茶を飲む音
204
205 へへ、美味しそうに飲むんだね。
206
207 ■主人公:月も飲みなよ
208
209 ……ん? 私も、いいの? それじゃ遠慮なく。
210
211 ■効果音:氷をトングでつかみ、コップに入れる音(4つくらい)
212 ■効果音:麦茶を氷の入ったコップに注ぐ音
213
214 いただきます。
215
216 ▼演技指示:お茶を飲む
217
218 ん、んく、んく。はあ〜、美味しい。
219
220 着物は可愛いけど、少し蒸れちゃって熱いから、冷えた麦茶が染み渡るよ。
221 流石に半袖、短パンで常連さんをおもてなしするわけにはいかないからね。
222
223 ▼演技指示:お茶を飲む
224
225 ん、んく、んく。はあ〜。
226
227 着物って見る分には涼し気に見えるけど、結構あつななんだあ。
228 今度常連さんも着てみる? うちには女物しかないからそれでもいいからね。へへ。
229
230 ■効果音:主人公がお茶を飲む
231 ■効果音:お茶を飲みほしたので、氷のみカランカラン鳴らす音
232 ■効果音:コップを机に置く
233

234	おかわりいる？
235	
236	■主人公：お願い
237	
238	……うん、コップちよーだい。
239	
240	■効果音：氷の入ったコップを月に渡す音
241	
242	ありがとう。
243	
244	■効果音：麦茶を氷の入ったコップに注ぐ音
245	
246	おととつと……。
247	
248	はいどーぞ。
249	
250	■効果音：コップを主人公の前に差し出す
251	
252	喉、凄く乾いてたんだ。
253	
254	■主人公：からからだったよ
255	
256	……そっか。それならゆっくり休んで、くつろいで、和やかにまったりしよーね。
257	
258	夏は始まったばかり。これからきつと楽しいことが待ってるよ。
259	
260	■効果音：月がお茶を飲む音
261	■編集さんへ：少しの間 環境音を流す（時折主人公がお茶を飲む音も入れる）
262	
263	……う、蚊が飛んでる。夏の敵だ。
264	ちよつと待っててね、蚊取り線香炊いちゃうから。
265	
266	■効果音：月が立ち上がる音
267	■効果音：縁側付近に向かう音
268	■効果音：縁側あたりでマッチをする音
269	■効果音：蚊取り線香にマッチの火を移す音

270 ■効果音:月が戻ってくる足音
 271 ■効果音:蚊取り線香(豚さんのやつ)を机に置く音
 272 ■効果音:月が座布団に座る音
 273
 274 よいしょっと。これで敵さんはこちらにやってこないはず。
 275 でも油断は大敵だから、ここでも蚊取り線香、炊いちゃうね。
 276
 277 ■効果音:蚊取り線香を月側に寄せる音
 278
 279 昔ながらの豚さんの蚊取り線香。
 280
 281 なんで豚さんなんだろうね。不思議だあ。
 282
 283 ■効果音:マッチをする音
 284 ■効果音:蚊取り線香にマッチの火を移す音
 285
 286 これでよし。ふう、ようやく安心してくつろげるね。
 287
 288 ■編集さんへ:少しの間 環境音のみ
 289
 290 ふう、風が吹いてる間は少し涼しいね。
 291 クーラーで涼むのもいいけど、こーして自然の風でゆらゆら涼むのが一番いいかも。
 292
 293 ■効果音:少しの間 環境音
 294 ■効果音:氷が溶けて落ちる音(からんと鳴らして下さい)
 295
 296 まだ暑い?
 297
 298 ■主人公:ちょっと
 299
 300 ……そっか、自然の風の手だけじゃ物足りないんだ。贅沢な常連さんだ。
 301
 302 でも、そうだよね。私はずっとここにいたけど、常連さんは山の中を
 303 えっさほいさしながら来たわけだもんね。うん、そりゃそうだ。
 304
 305 ……そしたら。

306	■効果音:手元に置いてある団扇を手に取り取る音
307	■効果音:団扇で主人公を仰ぐ音
308	
309	はい、ぱたぱた〜と。く〜、どう？涼しいでしょ？
310	
311	■効果音:パタパタ継続
312	■主人公:涼しい
313	
314	でしょでしょ。特別に常連さんが涼むまでやってあげよう。
315	
316	■効果音:少しの間うちわを仰ぐ音
317	
318	畳の匂いと蚊取り線香の香り。
319	遠くで聴こえる虫の鳴き声と時々なる風鈴の音色。
320	窓の外から流れる自然の風と、団扇の風。
321	
322	夏、到来って感じがするね。
323	
324	■効果音:少しの間うちわを仰ぐ音
325	
326	(自然な吐息・10秒くらい)
327	
328	……ふう、疲れた。仰いでると私の方も暑くなっちゃうね。
329	人力じゃ限界があるから、ここは科学の力に頼ろう。
330	
331	■効果音:月が立ち上がる音
332	■効果音:壁側に向かう音
333	■効果音:壁掛け扇風機のスイッチを入れる音(ダイヤル式)
334	■環境音:壁掛け扇風機の音
335	■効果音:月が戻ってくる音
336	■効果音:月が座布団に座る音
337	
338	はあ〜科学の力は偉大だねえ。スイッチを押すだけで簡単に風を運んでくれる〜。
339	
340	■効果音:10秒くらい環境音
341	

342 涼しい扇風機最高だあゝ。

343
344 ■効果音：10秒くらい 環境音

345 さてそろそろお仕事に戻らないと。

346 今日はどうなことをして常連さんを癒してあげようかな？

347
348
349 何かしてほしいことある？ もしないなら、私おまかせコースになるけど？
350 ちなみに効果の保証はありませんのであしからず。

351
352 ■主人公：おまかせで

353
354 うん、わかった。お任せね。中々のチャレンジャーだ。
355 気張らないと。

356
357 でももう少しだけまったりしてもいい？

358 もうちよっと、夏の気配を一緒に楽しもう？

359
360 二人で。一緒に、ね。

361
362 (自然な吐息・10秒)

363
364 ■編集さんへ：フェードアウト

365

366 (■トラック 3)

368 ■環境音:窓から聞こえる自然の音、壁掛け首振り扇風機、時折風鈴の音

369 ■効果音:衣擦れ音 (目の前に月がいることを表す意味です)

370 ▼位置:前【中距離】

371 よし！ それじゃ、まずはマッサージの定番、肩を叩いてあげるね。

372 仲居 月さんの今日、初のお仕事。

373 まずは疲れ切ってるであろう、常連さんの肩を叩いて、ほぐしてあげよう。

374 ■効果音:月が立ち上げる音

375 どっこいしょっと。

376 ■効果音:月の足音 (机の横を通って主人公の後ろに行く音)

377 ■効果音:主人公の後ろに膝をつく音

378 ▼位置:後ろ【中距離】少し左耳側より

379 ほへへ。改め見ると、常連さんの背中大きいね。男の人の背中って感じがする。

380 ……ま、まあ私が小さいだけっていうのもあるんだけどね。

381 うん、まだまだ成長期だから今後に期待。

382 あ〜でもお母さんの体型を思い出すと…………。

383 うう、涙がちよちよぎれそう。

384 ■主人公:元気出して

385 ……今、励まされてもあまりうれしくないよお〜だ。

386 常連さんは大きくていいね。ホントに。

387 ……こほん、愚痴を言ってる場合じゃなかった。

388 しっかり仲居さんの役割を果たさなきゃ。

402 早速肩をトントン叩いてくね。いっくよお。

403
404 ▼位置：後ろ【中距離】

405 ■効果音：肩を叩く音 開始

406
407 (吐息・10秒)

408
409 どう？ 痛くない？ もしくは物足りないとかあるかな？

410
411 ■主人公：丁度いいよ

412
413 ……うん、よかった。そしたらこの調子で続けていくね。

414
415 (吐息・10秒)

416
417 お客さあん、凝ってますなあ。凝り固まっておりますなあ。

418
419 ■主人公：面目ない

420
421 ……ちゃんと運動とかしてる？

422
423 ■主人公：最近はあまり

424
425 ……少しでも運動を意識するといいたいだよ。

426 買い物もいつものスーパーじゃなくて、ちよつと先のスーパーを選ぶとか、
427 帰り道に最寄り駅の一駅前に降りて歩くとか、日常生活で取り入れやすい、
428 運動を試みるのはいかがでしょうか？

429
430 私は仲居さんのお仕事でそこらへんばっちり。仲居さんのお仕事は意外とハードなんだあ。
431 だから私に運動不足の四文字はないよ。ふふん♪

432
433 ただひとつ。身体を動かすとお腹が減る。そして一番星のまかないはとても美味しい。
434 つまり、体重が……。あうあう……。

435
436 休みの日に本格的な運動を取り入れた方がいいかも……。
437 そしたら今度一緒に運動しよ？ ね？

438 ■主人公:いいよ

439
440 ……やった、約束だね。言質取ったり。へへ。

441
442 (吐息・10秒)

443
444 とんとん♪ とんとん♪ 常連さんの肩をとんとん♪

445
446 なんだか太鼓のリズムゲームみたいだね。

447
448 とんとん♪ とんとん♪ とんとん、とん♪

449
450 (吐息・10秒)

451
452 にしても常連さんの肩、ホントにかっちかちだね。
453 ちよっと私の手が痛くなってきた。

454
455 げんこつ山を叩いてるみたいで、狸さんになった気分だ。

456
457 ? げんこつ山ってどちらかと言うと私の方? 握りこぶしで叩いてるし。
458 ということは常連さんがたぬきさんってこと? ??

459
460 うん、よくわからないね。へへ。

461
462 (吐息・10秒)

463
464 とんとん♪ とんとん♪ とんとん、とんとん♪

465 とんとん♪ とんとん♪ とんとんとんとん♪
466 とん♪ っ。

467
468 ……常連さん、手が痛い痛いなので、叩き方を変えてもよろしいでしょうか?

469
470 ■主人公:いいよ

471
472 ありがたき幸せ。へへ。

473

474 したらあゝ。手と手を合わせて空気を優しく包むようにして――。
475 いくよおゝ、まずは左肩から。

477 ■効果音：両手を使って肩叩き（叩打法） 左肩

478 ▼位置：後ろ【中距離】 少し左耳側より

479 （吐息・10秒）

481 さっきまではとんとん♪ って感じだったけ、今はぱかぱかって感じだね。
482 ……ぱかぱかってなんだかお馬さんみたい。
483 狸さんだったりお馬さんだったり忙しい常連さんだね。

484 （吐息・10秒）

486 このやり方って美容室の人がシャンプーの後によくやってくれるよね。
487 呼び方がわからないから一度調べてことがあるんだけど、
488 叩打法（こうだほう）って言うんだって。

491 手のひらとかを使って、リズムよく軽くパンパン叩くことを差す言葉らしいよ。
492 ちゃんと呼び方があることにびっくりしちゃった。

493 今やってる肩たたきも叩打法（こうだほう）のひとつなんだって。

494 叩打法は神経とか筋肉の動きを元気にして、さらに血めぐりまで良くして、
495 身体を目覚めさせてくれるんだって。

496 これから癒しのフルコースを体験する常連さんにはぴったりだね。へへ。

497 （吐息・10秒）

498 ぱかぱか、ぱかぱかぱか♪ ぱかぱか、ぱかぱか♪
499 ぱかぱか、ぱかぱかぱかぱか♪ ぱかぱかぱか♪ っと。

500 まさか私がマッサージをする側になるとは1年前には想像もつかなかったよ。
501 何があるかわからないものだねえ。

510 (吐息・10秒)

511

512 ■編集さんへ：今までの吐息を使用し60秒くらい肩たたき

513

514 よし、こっちの肩はこのくらいでいいかな？ どう？ もっとやったほうがいい？

515

516 ■主人公：十分だよ

517

518 ……りょーかい。それじゃ、次は右肩をやっていくよお。

519

520 ■効果音：両手を使って肩叩き（叩打法）右肩

521 ▼位置：後ろ【中距離】少し右耳側より

522

523 (吐息・10秒)

524

525 ちょっと右肩の方が凝ってるかな？

526

527 さっきまで両肩を一緒にやってたから気づかなかったけど、

528

529 これは入念に叩かないとだね。少し集中してやってくよ。

530

531 月さん集中モード。なんてね♪

532 (吐息・10秒×3パターンください) ※ループ用

533

534 ■編集さんへ：右記、吐息を使って60秒肩たたき音

535

536 ん、中々に手ごわい肩だ。全然柔らかくならない。

537

538 ？？手ごわい肩って、手なのか肩なのかわからないね？ 変なの。へへ。

539

540 ■主人公：確かに

541

542 言葉って難しいんだね。

543

544 大好きを伝えるのは抱き付いてぎゅーってすれば伝わるけど、
545 自分の気持ちや想いを言葉で伝えるのは難しい。

……って先輩が言ってたの思い出したよ。つまりそういうことだね。

■主人公:どういこと?

……えへへ、自分でも何を言ってるからわからないや。雰囲気で喋っちゃった。

(吐息・20秒)

ぶう。肩叩きをして温まった身体に扇風機の風が染み渡る。

一番星では各部屋に旧式の壁掛け扇風機を付けてるんだけど、
このご時世、旧式の壁掛け扇風機を作つてるところが全然ないんだって。

昔ながらの付き合いのある会社さんに頼んで今でも作ってもらってるんだ。
雰囲気を大事にする一番星のこだわりが垣間見えるお話だよね。

今の時代、エアコンが便利すぎて壁掛けの扇風機は需要がどんどんなくなってるだつて。

世知辛いねえ。

私はこの扇風機が好きなんだけど。風情? があっていいよね。

……。

昔、家族みんなで行った、民宿を思い出す。

■主人公:あったねえ。

あまり広くないお部屋でみんなでぎゅぎゅうに詰めて一緒に寝て、
窓から鈴虫の合唱と、扇風機の音、それと家族みんなの息の音。

それだけでなんだか安心して、すぐ眠っちゃったような気がするよ。
懐かしいなあ。

■主人公:そうだね

582 (吐息・10秒)
583
584 ■編集さんへ…今までの吐息を使用し90秒ほど肩たたき音
585
586 はい、おしまい。お疲れ様でした。
587
588 ■主人公：ありがとう
589
590 ……どういたしましてだよ。少し肩楽になったかな？
591
592 ■効果音：肩をぐるぐる回す音
593 ■主人公：だいぶ
594
595 ……へへそれなら大満足。肩たたきをマスターした。なんてね♪
596
597 ■効果音：少しの間 環境音
598
599 あ、そういえば、ちょっとこっち向いて。
600
601 ■効果音：主人公が座ったまま振り向く音
602 ▼位置：前【中距離】
603
604 さっき気になったんだけど、常連さん、少し手の爪伸びてない？
605 ちょっと見して。
606
607 ■効果音：手を取る音
608
609 あーやっぱり伸びてるねえ。
610
611 ▼演技指示：少し嬉しそうに
612
613 もうだらしない常連さんだな。まったくまったく。
614
615 爪、切ってあげるから、待ってて。
616
617 ■効果音：月が立ち上がる音

618 ■効果音:月 足音 爪切りを取りに行く
619 ■効果音:遠くで箏笥から爪切りを取る音
620 ■効果音:足音 月が戻ってくる
621 ▼位置:前【遠距離】
622
623 おまたせ。
624
625 ■効果音:月が座る音
626 ▼位置:前【中距離】
627
628 あ、一応聞いとくけど、今後ネイルとかをするために伸ばしてるわけじゃないよね？
629
630 ■主人公:する予定はないかな
631
632 ……うん、それならばつきり切っちゃお。私に任せて。
633
634 ■主人公:お願いするよ
635
636 まずは右のお手てから――。
637
638 ■効果音:主人公が手を差し出す音（衣擦れ音で表現）
639
640 それじゃ切ってくね。
641
642 ……。人の爪を切るの初めてで緊張しちゃうね。ちよつと真剣にやらないと。
643
644 ■効果音:爪切りの音 ゆっくりめ
645
646 （吐息・10秒×3パターンください）※ループ用
647
648 ……常連さんの手、おつきいね。さつき見た背中もそうだったけど、
649 いつの間にこんな大きくなって、私も見習いたい。
650
651 ■効果音:爪切り音
652
653 深爪をしないように気を付けながら、パチンつ。

654 くくうまくできた♪

655

656 ■効果音:爪切り音

657

658 いつか子供がきたらこーして爪切りをしたりするのかな？

659 昔、お母さんにやってもらったように……。

660

661 ■効果音:右記、ループ音源と台詞を使用して、60秒くらい爪切り音のみ。

662

663 よ、よし。右手はこれで大丈夫。ふう緊張したあ。

664 切り残しとかない？ 平気？

665

666 ■主人公:平気

667 ■効果音:机にあるティッシュを取る音

668 ■効果音:爪切りから爪をティッシュに出す音。

669

670 ……よし、初めてにしてはよくできました。百点満点。

671

672 次は左手だね。手、かもん。

673

674 ■効果音:手を差し出す音（衣擦れ音で表現）

675

676 ……もうひと踏ん張り、頑張るよ。

677

678 ■効果音:爪切り音

679

680 常連さんの手、女の子の手と違って少しごつごつしてるけど、

681 柔らかいね。常連さんの優しさを表してるみたい。

682

683 あと血管がいいね。私、男の人の血管好き。じゅるり♪

684

685 ■効果音:爪切り音（台詞に合わせてお願いします）

686

687 ばちんっ……………ばちん……………ばちん……………ばちんつと。

688 あと、少し……………。

689

690	(吐息・10秒×2パターンください) ※ループ用
691	
692	■効果音:ループ音源を使用して、60秒くらい爪切り音のみ。
693	
694	出来たり。爪の形、変じゃないよね？痛い所もない？
695	
696	■主人公:大丈夫だよ
697	
698	……うん、つまりは完璧ってことだね。やったね。
699	
700	■効果音:爪切りから爪をティッシュに出す音。
701	■効果音:ティッシュを丸める音
702	
703	ちよつと片付けてくるから待ってて。
704	
705	■効果音:月が立ち上がる音
706	■効果音:足音 月が爪切りをしまいに行く
707	■効果音:筆筒に爪切りをしまう音
708	■効果音:チャイム音(正午を知らせる音)
709	▼位置:後ろ【遠距離】
710	
711	あつ、もうお昼ごはんの時間だ。
712	お昼ごはんは食堂で食べるんだけど、常連さんもう行く？
713	
714	■主人公:行こうかな
715	
716	……りょーかい、それじゃ案内するからこつちきて。
717	
718	■効果音:先に月が入口に行く足音
719	■効果音:主人公が立ち上げる音
720	■効果音:主人公が出口に向かう足音
721	▼位置:前【中距離】
722	
723	じゃ、行こっか？
724	
725	■効果音:襖を開ける音

726
727
728
729
730

- 効果音：足音×2分
- 効果音：襖を閉める音
- 効果音：足音 フェードアウト

731 (■トラック 4)

732 ■効果音: 虫の音と遠くで川が流れる音

733 ■効果音: 砂利の道を歩く音 (二人で並走してます)

734 ▼位置: 左耳側【中距離】※主人公の方を向いてます

735 ≪月≫

736 提案していいんだけど……本当によかったの？

737 せっかくお泊りに来たのにお外でお散歩なんて。

738 もしかしてさっき運動したほうがいいって言葉を聴いて？

739 ■主人公: それもあるけど月と一緒にいたかったから

740 ■効果音: 月が主人公の横腹あたりを小突く音

741 ……も、もう嬉しい事言ってくれるね、この常連さんは。このこの。

742 ■主人公: 月こそどうなの？

743 ……うん？ 私も常連さんと一緒にいたかったから、もちろん嫌じゃないよ？

744 一番星のお仕事でそれなりに身体を動かすことはあるけど、

745 お外の空気を吸いながらゆっくり体を動かす事は少ないからね。

746 って、ダメだよ、常連さんが気を使っちゃ。

747 嬉しいけど、ここでは私がもてなす側なんだから。

748 いっぱい甘えてもいいんだから。なんてね。へへ。

749 ■効果音: 少しの間 足音

750 ▼位置: 左耳側に立ち正面を向いて【中距離】

751 あっ……見えてきた。

752 ■効果音: 月が小走りで川の方へ向かう足音

753 ■効果音: 主人公がゆっくり歩く足音

754 ■編集さんへ: 月の足音ストップ

755 ■効果音: 月が振り向く音

767 ■編集さんへ：月の声を遠くから聞こえるように加工
768 ▼位置：前【遠距離】
769
770 常連さん、早く早く。
771
772 ■効果音：主人公の足音 少し早く
773 ■環境音：川のせせらぎ音 近く
774 ▼位置：前【中距離】
775
776 どうかかな？ 凄くない？ おつきな川！それに凄く綺麗。
777 先輩から一番星の近くに綺麗な川があるって聞いてたけど、
778 ここまで凄いは思わなかったよ。都会じゃ絶対に見れない光景だね。
779
780 まだまだ知らないことだらけだあ。未熟な従業員ですみませぬ。へへ。
781
782 でもこーして常連さんと新しいことを知っていくのも、なんかいいね。
783 二人で思い出作りみたいな？ うん、楽しいね。えへ。
784
785 ■効果音：足音（砂利の音） 月のみ
786 ■効果音：川の近くでしゃがむ音
787 ■効果音：月が川に手を入れる音。
788 ■効果音：少しちやぶちやぶする音
789 ▼位置：前【遠距離】マイクに背を向けて 少ししゃがむ
790
791 そんなに冷たくはないかな？ 少しひんやりしてて気持ちいい。
792
793 ▼位置：今の位置から首をマイクの方に向けて（ある程度で大丈夫です）
794
795 常連さんも、こっちきて〜。川、気持ちいいよ〜。
796
797 ■効果音：主人公の足音
798 ■効果音：主人公がしゃがむ音
799 ▼位置：左耳【近距離】※二人で川の前でしゃがんです。
800
801 手、入れてみて？
802

803 ■効果音：主人公が川に手を入れる音（ちやぷちやぷとした音）
804
805 いい感じにひんやりして気持ちいいでしょ？
806
807 ■主人公：そうだね
808
809 ちなみにこの川の水、なんと飲めるらしいよ。
810
811 ■効果音：月が正面を向く音
812 ▼位置：左耳側【近距離】正面を向いて
813
814 というわけで、さっそく。
815
816 ■効果音：月が川の水をすくう音
817
818 いただきます。
819
820 ▼演技指示：水を飲む音
821
822 んっ、んくんく、んく。ごくん。
823
824 はあ、こりやびつくり、すっごい美味しい。
825
826 ■効果音：月が主人公の方を見る音
827 ▼位置：左耳【近距離】
828
829 常連さんも飲んでみる？
830
831 ■主人公：うん
832
833 よしきた♪
834
835 ▼位置：左耳側【近距離】正面を向いて
836
837 よいしょっと。こぼれないようにそ〜っと。
838

839 ■効果音：月が川の水をすくう音
840 ■効果音：月が振り向く音
841 ▼位置：前【中距離】
842
843 はい……。どうぞ。こぼれちゃうから早く飲んで。
844
845 ■効果音：主人公が月の手から水を飲む音
846
847 ふふ、なんだかくすぐつたい。
848 とうか、ちよつと恥ずかしいね？ へへ
849
850 ■主人公：ごちそうさま
851
852 ……はい、おそまつさまでした。
853 も、もし次、飲みたくなったら、自分でやってね。恥ずかしかったあ。あはは。
854
855 ■編集さんへ：少しの間環境音
856 ▼演技指示：何かを思い出すように
857
858 ……あつ……。そういえば。
859
860 ▼演技指示：少し意地悪気に
861
862 へへ、常連さん今日はちゃんとお着替え持ってきたんだよね？
863 汗でびしょびしょになるからって、さっき言ってたよね？ ね？
864
865 ■主人公：そうだけど、なに？
866
867 うん、それを聴いて安心した。それなら遠慮なく…！
868
869 ■効果音：水をかける音
870
871 えいっ。
872
873 ■効果音：顔に水があたる音
874

875 へへ、これでもっと涼しくなるね。これも私なりのサービスだよ、常連さんっ。

876

877 ■効果音：水をかける音

878

879 えいつ、えいつ……。

880

881 ■効果音：主人公が水をかける音

882 ▼演技指示：水を顔にあてられる音

883

884 はふぎやつ！

885

886 うぬぬ、急に水をかけるなんて、なんて酷い常連さんだ。

887 ま、まあこつちが先にやりだしたことだけど……。

888

889 よしっ！ここは痛み分け——

890

891 ■効果音：水をすくう音

892

893 するわけないよね！

894

895 ■効果音：主人公が水をかける音

896 ▼演技指示：水を顔にかけられる

897

898 はふぎやつ！

899

900 先手を打つ、なんて

901

902 ▼位置：前【中距離】マイク右下を向いて

903

904 ぐっぐっぐっぐ。

905

906 ▼位置：前【中距離】

907

908 お水が口に入った。鼻もっーんってする。

909

910 容赦がない。これが仲居さんにする仕打ちなのか？

911 うん、なんだか分が悪そうだから、ここで痛み分けにしといてあげる。
912 つ、次は本気だから、もう水かけちゃ、やーだからね。
913

914 ▼演技指示：独り言
915

916 おかしい、こんなはずじゃなかったのに。
917

918 ふひゃく着物がびちよびちよだあ。少し乾かさないと先輩に怒られちゃう。
919 うーん、乾かせる場所ないかなあ？
920

921 ■効果音：月があたりを見渡す音（衣擦れ音で表現？）
922 ▼位置：左耳側【中距離】に立って、左側を向きながら。
923

924 ……あつ、うん、あそこがいいかな。
925

926 ▼位置：左耳【中距離】
927

928 常連さん、あっち、いこ？
929

930 ■効果音：立ち上がる音 二人分
931

932 ■効果音：振り向く音 二人分
933

934 ■効果音：砂利道 足音×2
935

936 ■効果音：途中から芝生 足音×2
937

938 ■環境音：木々が風で揺れる音
939

940 お水かけっこしたおかげで少し涼しいけど、
941 お日様にずっとあたっていると、熱中症になっちゃうからね。
942

943 こんな時は大きな木の下に避難するに限るよ。
944

945 ここで少し休憩しよ。
946

今日の気温なら少しゆっくりすれば着物も、常連さんのお洋服も乾くと思うしねー。へへー

944 ■効果音：芝生に二人が座る音
945

946 よいしょつと。

947
948 ■効果音：月がこつちを向く音
949 ▼位置：前【中距離】
950

951 ふゝ、少し歩いたし、お水もいっぱいかけられたから疲れちゃったね。
952
953 ……………。
954

955 良い運動になったかな？ お疲れの常連さんにはちよつと酷だったかな？
956

957 ■主人公：そんなことないよ
958

959 そつか、それならよかった。うんうん。
960

961 少しでも常連さんのお役に立てるなら、嬉しいよ。
962

963 ふふ、おかしいね。いつもはこんなこと思わないのに一番星で働いて、
964 常連さんが来てくれるから、こんな気持ちになるのかな？

965 常連さんとの付き合いも長いからかもねだねえ。
966

967 ■効果音：少しの間 環境音のみ
968

969 んゝゝゝ。ねえ常連さん、少し寝っ転がるつか？
970

971 このあたりふかふかしてるから、寝っ転がったらきつと気持ちいいよ？

972 ■主人公：いいよ
973

974 そろそろくちやん
975

976 ■効果音：二人が芝生に寝っ転がる音
977

978 ▼演技指示：添い寝中は小声でお願いします。
979

979 ▼位置：前【近距離】
980

980 うゝゝゝん、よい心地ゝゝ。
981

982 お布団もいいけど、自然が作ったベッドもなかなかいいものだねえ。

983 ■効果音::少しの間 環境音

984
985 耳を澄ませば、遠くで虫の声。木々が風揺れる音。近くには川のせせらぎ音。
986 夏の音と匂いがいっぱい。
987 こんな風に夏を過ごすのは初めて。いつもはお家でだらーってしてたから。
988

989 ■主人公::そうだねあ

990

991 ……くく、常連さんでしょ？

992

993 ■効果音::少しの間 環境音

994

995 初夏の木漏れ日が、ちらちら私たちを照らして包んでくれるね。
996 少し濡れて身体が冷たくなったところに、温かい日の光。
997 お布団にくるまってるような安心感があるよ。
998

999 しかも隣に常連さんがいてくれる、まさに実家のような安心感。へへ。

1000

1001 ■効果音::少しの間 環境音のみ

1002

1003 ふああああ、うん。心地よ過ぎて眠くなっちゃった。
1004

1005 ■主人公::月も疲れてるだろ？ 寝てていいよ

1006

1007 ……いいの？ 寝ても？ もしかして常連さんも眠い感じ？
1008

1009 ■主人公::うん

1010

1011 ……そっかあ。それなら少しだけお昼寝しよっか。
1012

1013 あと少ししたら本格的な夏が来て、
1014 こんなふう寝っ転がって過ごすなんてできないもんね。
1015

1016 今だけ、この瞬間を楽しまなきゃ。
1017

1018 ……ん、それじゃ、おやすみなさい。

1019	常連さんも、いい夢を……。
1020	
1021	(寝息・10秒を4パターンください) ※ループ用
1022	
1023	■編集さんへ…寝息 120秒ほど流してフェードアウト
1024	

1025 (■トラック5)
1026
1027 ■効果音：障子を開ける音
1028 ▼位置：前【中距離】マイクの顔に背を向けて
1029
1030 ≪月≫
1031 ただいま戻りました〜。ふう帰って来た！
1032
1033 ■効果音：月が振り向く音
1034 ▼位置：前【中距離】
1035
1036 ぐっすり寝ちゃった。
1037
1038 あと少しでお日様が私たちの代わりに、お休みする時間なっちゃうね。
1039
1040 お外でお昼寝ってあんなに気持ちいいんだね。
1041 常連さんも——。へへ、顔に寝跡ついでる。可愛い。
1042
1043 ■主人公：月こそ
1044
1045 えっ？ 私も？ ……うう。
1046
1047 ■効果音：月が手で顔を擦る音
1048
1049 どう？ 取れたかな？
1050
1051 ■主人公：少しだけ
1052
1053 ……うう、少しだけかあ……。あとは時間が解決してくれるのを待つしかないのか。
1054
1055 世知辛いねえ〜。
1056
1057 ■効果音：月が手で顔を擦る音
1058 ■効果音：月が自分の頬を軽く叩く音
1059
1060 よし、切り替えよう。

1061 お昼寝してすっきりしたから、ここから一番星のお仕事をまた頑張るよお。

1062

1063 さてさて、次は何してあげよっかなあ。

1064

1065 定番だけど耳かき、耳かきをしてあげよっか？ 常連さん、耳かき好きだったよね？

1066

1067 ■主人公：嫌いではないかな

1068

1069 前までは綿棒で簡単な耳かきしかできなかったけど、
1070 なんと、このたび先輩からお許しが出ました。

1071 耳かき棒を使つての耳かき解禁。どやあ。

1072

1073 って言つてもまだ常連さんだけにしかできないんだけどね。

1074

1075 でもでも同僚の子とたくさん練習したから結構自信ありだよ。

1076 この間も先輩に「月ちゃん、耳かきだけは得意だね」って褒められたんだ。

1077

1078 ……あれ？ 褒められてたのかな？ 何か含みがあるような……。

1079

1080 細かいことは気にしない方向で考えよう。それがいい。

1081

1082 耳かきセット持ってくるから、座ってちょっと待ってて。

1083

1084 ■効果音：月が立ち上がり、奥の方に向かう音

1085

1086 ■効果音：主人公の足音

1087 ■効果音：主人公が座布団に座る音

1088 ■効果音：月が棚を開けて、化粧箱を取り出す

1089 ■効果音：月 足音 戻ってくる

1090 ■効果音：化粧箱をテーブルの上に置く音

1091 ▼位置：前【遠距離】

1092

1093 お待たせ。へっへ、一番星の耳かきは本格的だから期待してて。

1094

1095 ■効果音：月が座布団に座る音

1096

この化粧箱に中、お耳を癒すための道具がたくさんあるんだあ。

1097 普通の梵天付の耳かきから綿棒や、ステンレス製の耳かき迄各種取り揃えております。
1098 いくつか全部やってあげるね。えへへ。
1099

1100 じゃ、さっそく始めようか。
1101 はい、こっちに来て。膝枕してあげる。
1102

1103 ■効果音：主人公が立ち上げる音

1104 ■効果音：主人公が月の方に行く足音

1105 ■編集さんへ：月と主人公の前にはテーブルがあります、
1106 迂回して近づく感じでお願いします。
1107

▼位置：前【遠距離】

1108

1109 さ、遠慮せずに月さんの膝にカモンカモン。顔は私の方向いてね。
1110

1111 ■効果音：主人公 膝枕する音。

1112 ▼演技指示：膝枕中は小声

▼位置：前【近距離】

1113

1114

1115 くく、すっばりおさまっちゃった。
1116

1117 私の耳かき技術はお母さん直伝でもあるから、常連さんも嬉しいでしょ？
1118

1119 ■主人公：母さんかあ……。

1120

1121 ……そこで複雑そうな顔しないの。お母さん悲しむよ？
1122

1123 ■主人公：そうだな

1124

1125 うん、常に感謝の気持ちを忘れちゃダメだからね。
1126

1127 さ、雑談もここまでにして、はじめよっか？

1128 まずはお耳の周りを綺麗にしていくね。
1129

1130 ■効果音：化粧箱から個包装されたコットンとアルコールスプレーを取り出す音

1131 ■効果音：包装されたコットンを取り出す音

1132

1133	このコットンに――
1134	
1135	■効果音:アルコールスプレーかける音
1136	
1137	アルコールシュッシュってかけて。
1138	少し揉んで……。
1139	
1140	これをお耳の外側に優しく――。
1141	
1142	■効果音:コットンで右耳周りを拭く音
1143	
1144	拭いていく、ね。
1145	
1146	■効果音:主人公衣擦れ音
1147	
1148	あつ、冷たかったかな？
1149	
1150	■主人公:大丈夫
1151	
1152	よかったあ……。
1153	
1154	■効果音:ふく音
1155	
1156	(自然な吐息・10秒ほど)
1157	
1158	こっちのお耳はこのくらいにして
1159	
1160	■効果音:ビニール袋を取り出す音
1161	■効果音:コットンをビニール袋に入れる音
1162	
1163	次は反対のお耳。
1164	
1165	■編集さんへ:音だけで表現 ゆっくりめにお願ひします。
1166	■効果音:包装されたコットンを取り出す音
1167	■効果音:アルコールスプレーかける音
1168	

1169 ん、耳に当てるよ。びっくりしないようにね？ へへ。

1170

1171 ■効果音：コットンを左耳に当てる音

1172

1173 あっ、少しびくってした。そうだった常連さんは、こっちのお耳が弱いんだったね。
1174 変わってないなあ。えへへ。

1175

1176 （自然な吐息・10秒ほど）

1177

1178 はい、これでお耳綺麗になったよ。

1179

1180 びくびくしてるお耳、可愛かったの。私、満足。へへ。
1181 また今度やってあげるね。

1182

1183 じゃあ、本格的に耳かきやってくよ。

1184

1185 さっき言った通り耳かき棒もたくさんあるんだけど、
1186 常連さん用の耳かき棒がこの間届いたんだ。

1187

1188 ボトルキープじゃなくて、耳かき棒キープ的な？

1189

1190 ■効果音：化粧箱から耳かき棒を取り出す音

1191

1192 これなんだけど、見える？

1193

1194 ■主人公：うん

1195

1196 竹細工職人さんが一本一本丁寧に作った特注品。

1197

1198 素材は雲紋竹？（うんもんちく）って珍しい竹を使ってるんだって。
1199 高級品ってやつだね。

1200

1201 よーく見ると、雲みたいな模様がたくさん入ってるでしょ？
1202 だから雲紋竹って呼ばれてるみたい。昔の人はお洒落な名前をつけるもんだ。

1203

1204 この雲の形ひとつひとつ、全部違ってるから、
常連さん専用の耳かき棒にあいなります。オンリーワン耳かき棒、爆誕。へへ。

1205 まだ使ったことないけど、訊くところによると、
1206 耳の中の感触が手に伝わりやすいんだって。
1207

1208 だ・か・ら。この間よりもっと常連さんを癒してあげられると思うよ。
1209

1210 ふふ、百聞は一見にしかず。ん？ なんか変だね。
1211 百見は一体験にしかず？ かな？ なんでもいいね、へへ。
1212

1213 よし、やっていこー。
1214

1215 片方のお耳を私の顔の方に向けて。
1216

1217 ■効果音：ゴロンする音
1218

▼位置：左耳【近距離】

1219 はい、よくできました。へへ、髪の毛があたってぞわつてする。
1220

1221 ではでは、特注常連さん専用耳かき棒を入れていくね。
1222

1223 ■効果音：耳かき音 外側 開始
1224

1225 もし痛かったり、くすぐったかったりしたら、教えてね。
1226

1227 善処くらいはするから、へへ。
1228

1229 (自然な吐息・15秒)
1230

▼演技指示：以降指示があるまで、囁き(有声音)
1231

1232 かり……かり、かりかり……かりかり。
1233

1234 どうか？ 気持ちいい？
1235

1236 ■主人公：だいぶ
1237

1238 そっかあ、よかったあ。安心した。
1239

でもでも、油断していると危ないから気を引き締めていくよ。
1240

(自然な吐息・15秒くらい)

1241
1242 かりかり、かりかり……かりかり。かり、かり……。
1243 かり、かりかり……かり、かり、かり……。
1244

1245 (自然な吐息・15秒)
1246

1247 この間まで春だったのに、気づけば夏になった。
1248

1249 このままじゃ夏は来ないのかなって思うくらい、ほんの少し前まで、
1250 雨がたくさん降っていて、ようやく雨があがったら、夏の香りがし始めてきたね――。
1251

1252 今年も夏がやって来た。
1253

1254 (自然な吐息・10秒)
1255

1256 毎年、毎年、四季を繰り返す。
1257

1258 私、春夏秋冬の中じゃ夏が一番好き。とくに初夏、今みたいに時期、
1259 夏が始まる頃が一番好き。
1260

1261 まあ、最近じゃ初夏でもだいぶあつついんだけどね。困ったものだ。
1262

1263 (自然な吐息・10秒)
1264

1265 ん、外側はこのくらいで……。どうだった？
1266

1267 ■主人公：凄くよかったよ
1268

1269 ……常連さんに喜んでもらえて嬉しい限りです。なんてね。
1270

1271 次、耳の奥の方やってくね。さっきよりもっと頑張っちゃう。へへ。
1272 耳かき棒入れてくよ。
1273

1274 ■効果音：耳かき 奥側 開始
1275

1276 (自然な吐息・15秒くらい)

1277 かりかり、かりかり、かりかりかり。
1278 かり、かり、かり、かり。かりかりかり。
1279

1280 どう？ うまく出来てる？ 痛かったりとかしてないかな？
1281

1282 ■主人公：凄く気持ちいい
1283

1284 ……ホント？ え、えへへ。素直に褒められると照れちゃうね。
1285 このこの。

1286
1287 (自然な吐息・15秒くらい)
1288

1289 さっきのお話の続きなんだけどね、私が初夏を好きだって話。
1290

1291 特別な理由があるわけじゃないんだ、たぶん夏休みが始まって。
1292 家族とたくさん一緒にいられる。友達とたくさん、遊べる。
1293

1294 そんな、子供みたいな理由だと思うの。
1295

1296 (自然な吐息・10秒)
1297

1298 ……まだまだ子供なんて言いっこなしだからね。16歳は立派な大人だよ。
1299

1300 でも私が立派なレディになっても、きつと初夏を好きでい続けるんだろうって、
1301 なんの根拠もないけど、そう思えるんだあ。不思議だね。へへ。
1302

1303 (自然な吐息・20秒)
1304

1305 常連さんも、夏休みに入ったら、また一番星に来てくれるよね？
1306

1307 ■主人公：来るよ
1308

1309 ……へへ。楽しみがひとつ増えたよお。
1310

1311 それなら、もっともつと頑張つて、癒しスキルをレベルアップさせて、
1312 常連さんを蕩けさせてあげるね。期待してて。

うん、これをこの夏の目標にしよう。常連さんのたくさん癒す。いい目標だね。
気張らなきゃ。えへ。

(自然な吐息・10秒)

常連さんとはずっと変わらない関係だけど、
ずっと変わり続ける関係でもいたいんだ。えへ。

(自然な吐息・10秒)

■編集さんへ：今までの吐息を使って1分ほど耳かき音

はい、こっちの耳は終わり。

どうだった？ うまくできてたかな？

■主人公：母さんみたに上手だったよ

……え、えへへ。褒め上手の常連さんなんだからあ。
ふふ、でもそう言われるのが一番嬉しいな。ありがとね。

次、反対側もやっていくね。ゴロンできる？

■効果音：ゴロンする音

▼位置：右耳【近距離】

ん。

膝枕するたびに思うけど、人の頭って結構重たいんだね。
ずしんって、膝に重さが伝わってくる。

■主人公：大変？

……ううん、そんなことないよ？心地いい重さ。
常連さんの頭の重さが一番いいかも。……なんてね。

……耳かき、続けるね。また外側からゆっくりやってくから。

1349 ■効果音:耳かき 外側 開始

1350
1351 (自然な吐息・10秒)

1352
1353 かりかり、かりかり……。かり、かり……。かり……。かりかり。
1354 かり、かり、かりかり……。かり、かり……。かり……。かりかりかり。
1355

1356 お日様が寝てるからか、涼しくなってきたね。

1357 窓から入り込んでくる風が、肌に触れて気持ちいい。

1358 お昼は結構暑かったけど、夜になるとガラリと姿を変えるように涼しくなる。

1359
1360 気づけば夜の時間。

1361 今日は楽しかったから、時間が過ぎるのが凄く早い気がするよ。

1362
1363 常連さんとは少し久しぶりに会ったしね。
1364

1365 (自然な吐息・10秒)

1366
1367 前まであんなに頻繁に会ってたのに、少し合わない時間ができるだけで、
1368 ちよっとだけ寂しかった。
1369

1370 うん、夏の終わりのような寂しさがあつたかな。
1371 っ、まだ始まったばかりだけど、へへ。
1372

1373 (自然な吐息・10秒)

1374
1375 いつまでも傍にいられないことはわかってるけど、それでも求めちゃう。
1376 へへ、常連さん離れが出来ない娘でございます。
1377

1378 (自然な吐息・20秒)

1379
1380 はい、外側終わり。このまま奥の方もやっていくね。
1381

1382 (自然な吐息・20秒)

1383
1384 ■効果音:鈴虫の音フェードイン 開始

1385 かりかり……かりかり……かり、かり。
1386 かりかり、かりかり……かりかり、かりかりかり。
1387

1388 (自然な吐息・10秒)
1389

1390 ……虫さんの鳴き声が聞こえてきたね。本格的な夜の始まりだ。
1391

1392 大合唱までとはいかないけど、ここにはたくさんの虫さんがいるから、
1393 自然のオーケストラが楽しめるよ。
1394

1395 (自然な吐息・10秒)
1396

1397 しかし一つ問題があります。私、虫、苦手、です。
1398 もしもおっきな虫さんが来たら、常連さんの出番です。頼んだ。へへ。
1399

1400 (自然な吐息・10秒)
1401

1402 かりかり、かりかり……かり、かり……かりかり、かり。
1403 かりかりかり、かり、かり……かり、かりかり、かりかりかり。
1404

1405 (自然な吐息・10秒)
1406

1407 子供のままじゃ嫌だっと思ってた時期がね、私にはあったんだ。
1408 いつまでも家族の邪魔になりたくないって、
1409 私のせいで家族が自由にできないんじゃないかって、思ってた。
1410

1411 16歳になって、大人へ階段を一段だけ昇って、一番星で働けるようになった。
1412

1413 (自然な吐息・10秒)
1414

1415 少し前までは早く大人になりたいって思ってたけど、
1416 今はちよっとだけその思いが少なくなった。
1417

1418 なんでだろうね？常連さんならわかるかな？
1419

1420 ■主人公:そういうものだよ

1421 ……そっか、そーいうものかぁ。

1422

1423 (自然な吐息・10秒)

1424

1425 常連さんはもう大人になった？それともまだ子供？

1426

1427 大人な常連さんも、子供な常連さんも、私はどっちも好き、だよ。
1428 これからも常連さんが常連さんでいて、私の傍にいてくれるなら。
1429

1430 (自然な吐息・10秒)

1431

1432 どんな常連さんでも、私は、ずっと好きだよ。

1433

1434 (自然な吐息・20秒)

1435

1436 くく、他の人に聴かせられないね。

1437

1438 でも、親愛の情がそれほど悪いものには思えないんだあ、
1439 誰がどんなことを言ってきたって、本心を騙すようなことはしたくない。

1440

1441 誰かに嘘をつかれるのはいい、誰かに嘘をつくことも時には必要だと思う。
1442 でも、自分だけには嘘をつきたくないんだ。あと常連さんにもこれ以上は、ね。

1443

1444 (自然な吐息・10秒)

1445

1446 常連さんも私が好きで、心配だから来てくれるんだよね？

1447

1448 ■主人公：そうだね

1449

1450 うん、なら両想い。相思相愛。

1451

1452 いつまでの仲のいい関係でいようね。

1453

1454 私が本当の意味で大人になっても。

1455

1456 常連さんが、おじさんになって、私がおばさんになっても。

今日みたいにごろんとだらけて、二人で一緒にいようね。

1457 約束。

1458

1459 (自然な吐息・20秒)

1460

1461 ■編集さんへ：今までの吐息を使って 耳かき90秒ほど

1462

1463 ……はい、おしまい。

1464

1465 気持ちよかった？

1466

1467 ■主人公：お母さんに似てきたね

1468

1469 そ、そうかな？ 意識してなかったけど、血は争えないってことだね。

1470

1471 お母さんに感謝の気持ちを伝えなきゃだ。

1472 ■効果音：主人公が起き上がるうとする音

1473

1474 あっ、いいよ、まだこのままで。

1475

1476 もう少しゆっくりしてよ。

1477

1478 ■効果音：ゴロンする音

1479 ▼位置：前【近距離】

1480

1481 お日様は沈んで、夜の時間が始まったけど、

1482

まだまだ、今日という時間はたっぷりあるから、焦らずに、まったりしてよ。

1483

1484 私はそうしたい。ね、常連さんは？

1485

1486 ■主人公：そうだね

1487

1488 うん、じゃあ、もう少しまったりしてよ。

1489

1490 (自然な吐息・30秒)

1491

1492 ■編集さんへ：60秒くらい吐息と環境音その後フェードアウト

1492

(■トラック 6)

■環境音:露天風呂の音と虫の鳴き声

■効果音:温泉の水が揺れる音(ちやぷんちやぷんみたいな音)

■編集さんへ:温泉ぼい加工をお願いします。

▼演技指示:次の台詞、ふぬけた声

▼位置:前【遠く】

《月》

ふひひひ。温まるひひ。

疲れがみるみる落ちていくようだあひひ。

常連さんはどう? うちの温泉ははじめてだったよね?

■主人公:一度だけ入ったことある

……あつ、そっか最初の時、入ってたね。

でも、結構久しぶりでしょ?

■主人公:そうだね

■効果音:ちやぷちやぷ音

一緒に入るのも、ね。

■主人公:確かに小さいころは良く入ってたからなあ

……だね、今は二人とも水着同士だけど、気持ちいいことにならないね。
こんな大きくて、足も広々延ばせるくらいおっきい温泉。贅沢だあひひ。

■効果音:少しの間 環境音と水が揺れる音

一応いっとくけど、一番星では普通、仲居さんと混浴なんていうサービスはないからね。
常連さんだけの特別サービス。

1529 ■効果音:少しの間 環境音と水が揺れる音

1530 ■効果音:台詞に併せて 水が揺れる音

1531

1532 ちゃ。ぶ。ちや。ぶ。……ちや。ぶ。ちや。ぶ。

1533 ちゃ。ぶ。ちや。ぶ。ちや。ぶ。♪

1534

1535 くく、楽しい。

1536

1537 ■編集さんへ:少し間

1538

1539 そーいえばお夕飯は美味しかった？

1540 今日はね、私が料理長にお願いをしてちょっと豪華にしてもらったんだ。

1541

1542 料理長は普段、結構厳しめの人ってみんなは言うんだけど、
1543 何故か私には優しいの、あれは間違いなく孫を見る目だね。

1544

1545 好々爺オーラが凄かったもん。げせないねえ。こんな立派なレディなのに。

1546

1547 まあでも、そのおかげで少し我儘を聴いてもらえたんだから良しとしよう。

1548

1549 常連さんも私に感謝するように。なんてねえ、へへ。

1550

1551 ■効果音:少しの間 環境音と水が揺れる音

1552

1553 常連さん、明日帰っちゃうんだよね。

1554

1555 ■主人公:そうだね

1556

1557 ……そっか、また寂しくなるね。次はいつ来れるの？

1558

1559 ■主人公:わかんない

1560

1561 ……常連さん忙しいもんね。忙しい中来てくれてるんだよね。
1562 嬉しい気持ちと同じくらい、やっぱ寂しいな。

1563

1564 ちゃ。ぶ。ちや。ぶ。 ちや。ぶ。ちや。ぶ。

1564

1565	■効果音:少しの間 環境音と水が揺れる音
1566	■主人公:温泉気持ちいいね
1567	
1568	……うん? うん、そうだね、気持ちいい。
1569	
1570	お家のお風呂とは違う、温泉には何か特別な効力があると思うわけですよ。
1571	
1572	身体全体がぼかぼかして、弛緩して、温泉と同化するみたいに、
1573	ちゃぷんちゃぷんになってくうう。ふへえううう。
1574	
1575	クセになっちゃう。
1576	
1577	■主人公:月はいつでも入れるだろ
1578	
1579	……ん? 入れないよ? お客さんがいない日とかなら入れるかもだけ、
1580	これでもうちは人気な宿だから。滅多にない。
1581	
1582	本当に入りたくなったときは、お休みの日にお客さんとして部屋を借りるしかないんだあ。
1583	これは秘密だけど、実は従業員割引があるの。結構安く借りられるから、
1584	たまーにそうしてる。
1585	
1586	でもお金も溜めたいから、頻繁には借りられないんだよ。
1587	
1588	■主人公:なら僕が来た時は、また一緒に入ろう。
1589	
1590	……あつ、うん。約束、女将さんにも伝えておくね。
1591	私は優しい常連さんに恵まれてますなあ。
1592	
1593	嬉しい、嬉しい。
1594	
1595	■効果音:少しの間 環境音と水が揺れる音
1596	ちゃぷんちゃぷ、ちゃぷんちゃぷ。
1597	
1598	■効果音:少しの間 環境音と水が揺れる音
1599	■主人公:そろそろあがるよ
1600	

1601 ……のぼせてきちゃった？ 常連さんお風呂に弱いよね。

1602 昔から肩まで浸かって10秒数えずにお風呂を上がったのが原因かな？

1603

1604 入り過ぎはよくないけど、あとちよつとまったりしとくのもいいもんですぜ。ふへへ。

1605

1606 私はもうあげるけどね。へへ。

1607

1608 ■主人公：なんでやねん

1609

1610 ほら、私一応従業員だから。

1611 常連さん——お客さんよりゆっくりしていくわけにはいかないの。

1612 仕事のできる女を目指してるんだから。

1613

1614 というわけで——

1615

1616 ■効果音：月が立ち上がる音

1617

1618 お先へ

1619

1620 温泉から出たら、ちゃんと身体拭いて、髪の毛乾かすんだよ。

1621 風邪ひいちゃうからね。

1622

1623 ■主人公：お母さんみたいだ

1624

1625 ……誰がお母さんみたいだつて。私、まだ、うら若き、16歳。

1626 失礼しちゃうわ。へへ。

1627

1628 それじゃ、お部屋で待ってるね。

1629

1630 ▼演技指示：お兄ちゃんといいかける。

1631

1632 お——常連さん。またあとで。

1633

1634 ■効果音：月が温泉を出る音

1635

■効果音：月の足音

1636 ■効果音：扉の開閉音

■編集さんへ：環境音とちやふちやふ音を30秒くらい流してフェードアウト

1638 (■トラック7)

1639

1640 ■効果音：廊下を歩く足音 主人公

1641 ■効果音：障子を開ける音

1642 ■状況：月が布団の上で座ってます

1643 ▼位置：前【遠く】

1644

1645 ≪月≫

1646 あ、お帰りなさい。常連さん。

1647

1648 ちゃんと身体拭いた？ 髪の毛乾かした？

1649

1650 ■主人公：うん

1651

1652 それならよし。

1653

1654 もうお布団敷いてあるから、あとは寝るだけの状態。

1655 ゆっくり寝て、疲れを取って、明日からまた頑張ろうね。

1656

1657 でもその前に、最後の癒しサービスしてあげるね。

1658

1659 こっちきで。

1660

1661 ■効果音：主人公足音

1662 ■効果音：月 膝をぼんぼんする音

1663 ▼位置：前【中距離】

1664

1665 はい、頭乗せて。

1666

1667 ■効果音：膝枕をする音

1668 ▼位置：前【近距離】

1669

1670 さっきは耳かき棒で耳かきしてあげたから、今度は綿棒で軽くお掃除してあげる。

1671 お掃除というかマッサージに近い感じかな？

1672

1673 ■効果音：個包装された綿棒を取り出す音

1674	これは一番星のお仕事じゃなくて、向日月からのサービスだと思って。
1675	
1676	ちょっと前まで綿棒でやるが多かったでしょ？
1677	だから少し物足りないかなあって。
1678	
1679	お耳の弱い常連さんに特別サービスだね。へへ。
1680	
1681	もう夜だから、静かに、おしゃべりせずやってくね。
1682	もし途中で眠くなっちゃたら寝てもいいから。
1683	
1684	そしたらまたごろんして。
1685	
1686	■効果音：ゴロンする音
1687	▼演技指示：囁き（有声音）
1688	▼位置：左耳【近距離】
1689	
1690	やってくね。
1691	
1692	■効果音：綿棒 耳かき
1693	
1694	（自然な吐息・10秒を4パターンください）
1695	
1696	■編集さんへ：2分ほど耳かき音
1697	
1698	常連さん、気持ちよさそう。ふふ。
1699	
1700	■編集さんへ：1分ほど 耳かき音
1701	
1702	はい、こつちのお耳はこのくらい。やりすぎはよくないからね。
1703	
1704	次は反対のお耳——
1705	
1706	■効果音：ゴロンする音
1707	▼位置：右耳【近距離】
1708	
1709	従順な常連さんだね。へへ

1710 それじゃこつちも――。

1711

1712 ■効果音：綿棒 耳かき

1713

1714 (自然な吐息・10秒を4パターンください)

1715

1716 ■編集さんへ：1分ほど耳かき音

1717

1718 朝に会って、お昼を過ぎ、夜を迎える。

1719 小さい時を思い出すね。

1720

1721 ■編集さんへ：1分ほど耳かき音

1722

1723 今日の月は綺麗だね。……あつ、私のことじゃ、ないよ？

1724 お月様のことから、ね。勘違いしちゃダメ、だから。

1725

1726 ま、私も綺麗だけどね、なんて。へへ。

1727

1728 ■編集さんへ：1分ほど耳かき音

1729

1730 もうあとは寝るだけのこの時間が私は好き。

1731 常連さんはどう？

1732

1733 ■効果音：僕も

1734

1735 ……そっか、一緒だね。さっすが。

1736

1737 ■編集さんへ：1分ほど耳かき音

1738

1739 はい、おしまい。

1740

1741 常連さん、睨みくびくしてる。もう眠気限界でしょ？

1742 わかった、そしたらこのままお布団入っちゃお。

1743

1744 明日、また私が起こしに来てあげるから。

1745 たくさん寝て、元気になるんだよ？ へへ。

1746
1747

■ 効果音・環境音フェードアウト

1748 (■トラック 8)
 1749
 1750 ■環境音:遠くで虫の鳴き声
 1751 ■効果音:お布団をかける音
 1752 ▼位置:前【遠く】
 1753
 1754 ≪月≫
 1755 夜は少し冷えるから、ちゃんとお布団かけて寝るんだよ。
 1756
 1757 ■効果音:電気を消す音 紐式
 1758 ■効果音:足音 月 お布団の傍に近づく
 1759 ■効果音:お布団にもぐりこむ音
 1760
 1761 へっへっ、失礼します。
 1762
 1763 ▼位置:前【近距離】
 1764
 1765 入り込んだじゃった♪
 1766
 1767 今日はもうお仕事終わりだから、自由時間。
 1768 月さんが添い寝サービスしてあげるね。
 1769
 1770 ■主人公:バレたりしたら大変じゃないか?
 1771
 1772 大丈夫。バレないバレない。
 1773 わざわざ常連さんの部屋を覗きにくる不届き物は一番星にいないもん。
 1774
 1775 ……………たぶん。
 1776
 1777 ■主人公:不安だなあ
 1778
 1779 もしばれたら二人で謝ればきつと許してくれるって。
 1780 ほら不安がついていちゃ寝れないよ。
 1781
 1782 今日は常連さんと水入らず。最後までゆっくり癒されよ?
 1783

1784 ■主人公：わかったよ

1785

1786 良いお返事だね。へへ。

1787

1788 ■効果音：月が寝返りを打つ音

1789 ▼位置：今いる位置からそのまま右側を向いてください。

1790

1791 んしょつと。

1792

1793 ▼位置：前【近距離】右側を向いて

1794

■効果音：おはじきを筒状の入れ物から畳に出す音

1795

■効果音：おはじきを手でじやらじやらする音 台詞中もお願いします。

1796

■主人公：おはじきまだ持つてるんだ

1797

1798 ……うん？ あゝおはじきね。うん、まだちゃんと持つてるよ。

1799 常連さんが初めてくれたプレゼントだからね、大切にしてる。

1800

1801 常連さんがいなくても寂しくならないように、いつも寝る前に触ってるんだあ。

1802

健気でしょ。へっへ。

1803

1804 ……まあ今日は常連さんがいるから触る必要はないかもなんだけどね、へへ。

1805

1806 ……おはじきのじやらじやら音を聴いてると、常連さんのこともそうだけど、

1807

昔をよく思い出すんだ。

1808

1809 お母さんがいて、お父さんもいて、家族四人が常に傍にいたことを、ね。

1810

1811 今が幸せじゃないってわけじゃないけど、あの時の幸せはもうないんだなって。

1812

少し悲しくもなるね。

1813

1814 ■効果音：月が寝返りを打つ音

1815

▼位置：前【近距離】

1816

1817 常連さんはどう？

1818

1819 ■主人公：そうだね

1820 ……おゝ気が合いますな。似た者同士ってことだねえ。

1821

1822 ■効果音：月が寝返りを打つ音

1823 ■効果音：少しの間 おはじきをじゃらじゃらする音

1824 ▼位置：前【近距離】右側を向いて

1825

1826 昔におはじきを見たときは、宝石みたいって思ってたなあ。

1827 太陽にかざしてみるとキラキラ輝いてみえるしねえ。

1828

1829 あの頃の月さんは純粹無垢だった。

1830 あ、今も純粹だから、お間違いないように。

1831

1832 でも、おはじきが玩具だって知る頃には宝石より大切なものになってたんだ。
1833 思い入れのある大切なおはじき。へへ。

1834

1835 ■効果音：少しの間おはじきのじゃらじゃら音

1836

1837 ……堪能終わり♪

1838

1839 ■効果音：おはじきを筒状の入れ物に入れる音

1840 ■効果音：畳に筒状の入れ物を置く音

1841

1842 よおし寝るぞ。

1843

1844 ■効果音：月が寝返りを打つ音

1845 ▼位置：前【近距離】

1846

1847 えへへ、改めてだけど、常連さんのお顔が近い。息が鼻先にあたってるね。
1848 おでここつつんこする距離だ。

1849

1850 アリさんとアリさんがこつつんこ♪

1851

1852 えへへ。

1853

1854 ■主人公：なんか浮かれてない？

1855

1856 んえ？ そんなことないよ。

1857 業務は終わっても、常連さんが寝てないから、まだお仕事中だもん。

1858 浮かれるなんてプロ失格だね。うん。

1859

1860 ほら、前来てくれたときは日帰りで帰っちゃったし、私もまだ緊張してて、

1861 ゆっくりすることなんてできなかったから。

1862

1863 今日は一番星で働くのも少し慣れて、

1864 いつもみたいに常連さんと過ごせたのがとても楽しかったんだ。

1865

1866 常連さんも同じ気持ちだったりする？

1867

1868 ■主人公：そうだね

1869

1870 ……え、えへへ。やっぱりそうだよねえ。

1871

1872 お仲間さんだね♪

1873

1874 (吐息・10秒)

1875

1876 ね、常連さん、ちょっとぎゅってしてくれない？

1877

1878 ■主人公：子供みたい

1879

1880 ……む、子供みたいとか言わないの。

1881

1882 いいから、して？

1883

1884 ■効果音：ハグする音

1885 ▼位置：前【近距離】※椅子などに座ってマイクの胸あたりで台詞をください。

1886

1887 え、えへへ。ぎゅってされると安心する。

1888

1889 ■主人公：いいの、こんなことして

1890

1891

1892 ……いいの、いいの。今はプライベートな時間だから。

1893

1894 ■主人公：さつきと言ってることが違う

1895

1896 ……さつきと言ってることが違うって気配を感じるけど、スルーしておくね。
1897 時間はいつだって過ぎ去っていくもの、過去ばかりみてもしょうがないですよ。
1898

1899 ■主人公：まあいいけどね

1900

1901 (自然な吐息・10秒)

1902

1903 今日はたくさん常連さんを癒してあげたから、最後くらいは、甘えたいなって。

1904

1905 一番星の先輩は優しくしてくれるし、お友達もできたけど、甘えられる人は、まだいないし。
1906 もう甘えていい年齢でもないのかなって思ってたから。

1907

1908 常連さんなら気兼ねなく甘えられるでしょ？

1909

1910 ■主人公：そうだけど

1911

1912 それとも迷惑だったかな？ 嫌、だった？

1913

1914 ■主人公：そんなことないよ。

1915

1916 ……へへそうだよねえ、言質取ったり〜。

1917

1918 といわけで、ぎゅーっ。

1919

1920 ■効果音：抱き付く音

1921

1922 明日からまた逢えなくなるから、常連さん成分補充〜。

1923

1924 (自然な吐息・20秒)

1925

1926 不思議だよ。大切にしたから、離れたのに。
1927 気づけばまた近くにいる。

1928 離れた分だけ近く感じて、近くいる分だけ遠くを想う。

1929

1930 (自然な吐息・10秒)

1931

えへへ、ちよつと真面目ぶっちゃった。

1932

1933 私はね、嬉しいんだ。常連さんが、こんな山奥まで来てくれることが。

1934 私に会いに来てくれることが、とても嬉しいの。

1935

1936 ここまでくれば、もう会わないですむ。

1937

1938 そんな考えを打ち破るように、常連さんは会いに来てくれた。

1939

1940 お仕事も忙しいのに。私のために足を運んでくれる。

1941

1942 それがどれだけ私の救いになってるか、きっと常連さんはわからないよね。

1943

1944 (自然な吐息・10秒)

1945

1946 お母さんとお父さんが亡くなって、

1947

1948 私の傍から大切な人がどんどんいなくなっていく。

1949

それならいつそ私から――。

1950 そう、思っていたのにね。

1951

1952 へへ、常連さんがいなかったら今頃は、私に笑顔はなかったよ。

1953

1954 ありがとね。

1955

1956 あっ、ごめんね。たくさん喋っちゃって。

1957

1958 もう眠気が限界だよ。うん、いいよ。

1959

1960 常連さんが寝るまで、ずっと傍にいるから。傍にいさせて。

1961

1962 ……うん、おやすみなさい。いい夢を見るんだよ。

1963

(自然な吐息・20秒)

1964 んゝゝゝ、私も、限界、かも。

1965

1966 おやすみ、なさい。

1967

1968 ▼演技指示：聞き取れないくらいの小さな声でお願いします。

1969

1970 おにいちゃん——。

1971

1972 (自然な寝息・10秒×3パターンください)

1973

1974 ■編集さんへ：寝息フェードアウト

1975

1976	(■トラック 9)
1977	
1978	■環境音:朝の音
1979	■効果音:主人公が靴を履く音
1980	▼位置:前【遠距離】
1981	
1982	《月》
1983	それじゃ常連さん、はいこれ荷物。
1984	
1985	■効果音:鞆を渡す音
1986	
1987	ごめんね。昨日は気づいたら寝てて、まさか起こしてもうらなんて。
1988	あとでちゃんと女将さんに叱れてくるよ、およよ。
1989	
1990	それじゃ、行つてらっしゃい。また遊びにきてね。
1991	
1992	ばいばい。
1993	
1994	■効果音:しばらく足音 砂利道
1995	■効果音:月が後ろから走ってくる音
1996	▼位置:後ろ【遠距離】
1997	
1998	ま、待つて。はあゝはあゝ。早い、歩くのが早いよ。
1999	
2000	そんな重い荷物持つてるのに、なんでそんなに早いの。
2001	はあーはあーっ。
2002	
2003	ちよつと、呼吸させて。
2004	
2005	すうゝゝゝはあゝゝゝゝ。すうゝゝゝはあゝゝゝゝ。
2006	
2007	よし！
2008	
2009	■主人公:どうした？
2010	
2011	あつ、えつと、忘れ物っていうか、これ。

2012 お仕事前にお墓参り行くんでしょ？ これ持って行つて。

2013

2014 ■効果音：紙袋を渡す音

2015

2016 一番星名物のおまんじゅう。温泉まんじゅうってやつだね！

2017

2018 私はまだ仕事があるからいけないけど――

2019

2020 きつとお兄ちゃんは行くかなって。

2021

2022 ■主人公：呼び方 常連さんじゃないの？

2023

2024 ……ん？ 呼び方？ そりゃ一番星から離れたからね。

2025

常連さん呼びはお仕事中だけ、特別感があつたでしょ？

2026

2027 あとほら、一番星内でお兄ちゃん呼びしていると、他のお客さんから変な噂になっちゃうしね。

2028

2029 一番星ではお兄ちゃん呼びのサービスがあるのかつて。

2030

2031 ちなみに同僚たちには私たちの関係丸わかりだから！

2032

仲のいい兄弟だねってニマニマしてた。

2033

2034 すっごく、ニマニマしてた！

2035

2036 あゝきつとこの後もからかわれる。

2037

でも仕方ない、お兄ちゃんと一緒に寝るなんて、どこの仲良し家族だよって感じだし。

2038

2039 ■主人公：僕たちたち仲良しでしょ？

2040

2041 ……まあ仲良しといえば仲良しだけど。

2042

たった一人の肉親だし、お互い支えあつて生きてくしかないけどね。

2043

2044 ■主人公：だから、勝手に一人でいなくならないでよ

2045

2046 ……ううう、わかったよ。今度からちゃんとお兄ちゃんに相談する。

2047

一番星で働く事、ギリギリまで黙ってたのまだ根に持つてねこのお兄ちゃんは。

2048 うん、嫌なことからは極力目を逸らそう。

2049

2050 それじゃ、改めて。行つてらっしゃいお兄ちゃん。

2051

2052 次の休みの日はお兄ちゃんのお家に行くね。

2053

2054 その時はいっぱい甘えちゃうから覚悟するように。

2055

2056 ばいばい。

2057

2058

E
n
d